

Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第36号 令和2年7月13日(月)

今、この一瞬を大切にしよう！～道徳科の学習から～



「精一杯生きる」

生命の尊さ。命の大切さを学ぶために、5年生では、道徳科の学習で「命」を題材にしました。

最初に、担任が「あなたのルーツものがたり」を紹介。この世の中に生を授かることがどれだけ貴重なことか、下の資料を使うことで、実感することができました。

子どもたちの気持ちが高まったところで、以下の資料を読みました。

11歳という若さで、この世を去った女の子が作った詩です。大好きな富士山と花をバックに力強く描かれています。命の大切さを、全力で伝えてくれています。

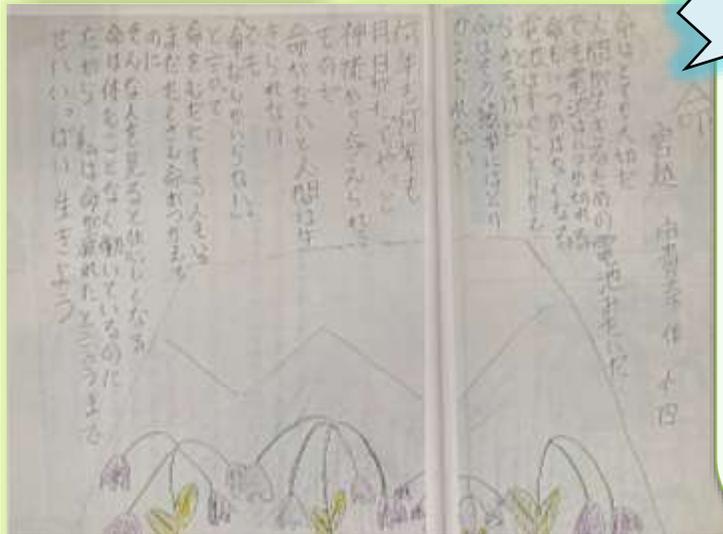
さて、5年生の子どもたちは、何を感じたのでしょうか？



子どもたちがまず感じたことは「今この一瞬にありがとう」の気持ちを大切にしよう、ということでした。

この世の中に生まれてきたことは、なんと奇跡的なことなのだろうか。そして、その生を大切に育ててくれた人がいてくれて、今の自分がある…

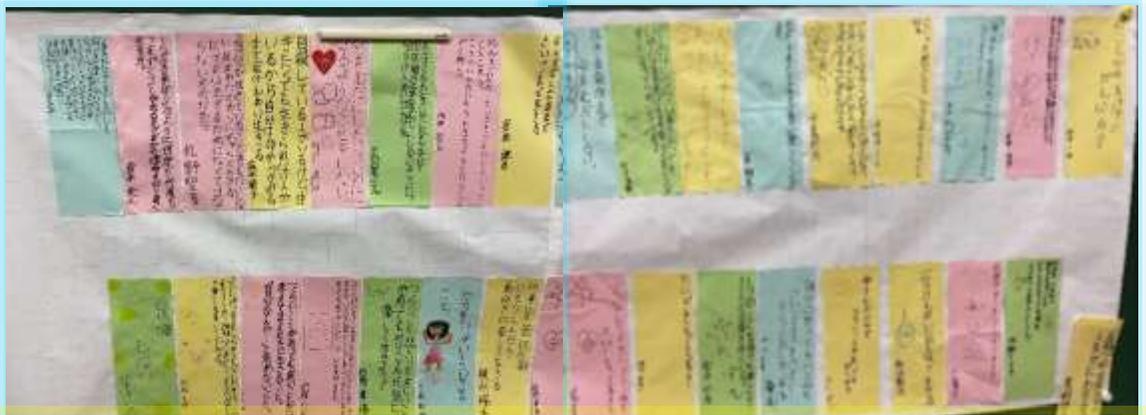
この素晴らしい環境のもと、今の自分があることに、改めて命の重みを感じたようです。



みんなの思いを、一つにしよう！

「みんな、本当に素晴らしい考えだね。せっかくだから、みんなの考えを一つにまとめようね。」
「うん、この模造紙を、黒板の上に貼っておきたいよ。いつまでも伝わるように…！」
こうして、子どもたちの感想を一つの模造紙にまとめたのだそうです。では、早速いくつかご紹介したいと思います。

- ・生きることをいやにならないで、今までのことを無駄にしないように一生懸命頑張る。
- ・自分が生きていることをむだにしない。生まれたから、ちゃんと生きる。だって、命は生きるためになくってはならないものだから。
- ・つらいこと、悲しいこと、苦しいことがあっても乗り越え、元気に楽しく生きよう！
- ・限られた人生をどれだけ楽しく暮らせるかを考えていきたい。
- ・どんなに辛いことがあってもいやな事があっても、最後まであきらめずに一生懸命生きる。
- ・最後まで誇りをもって、勇ましく生きる。



「命」を大切に、今この一瞬に「ありがとう」

このような状況だからこそ、大切なことを改めて見直すよい機会を与えていただきました。学習を通して、毎日の生活を振り返ることができることを願っています。

こんなシーンがもっと知りたい！大募集集中！



「今日学校で何があったの？」「特に…。」
「何かあったの？」「別に…。」
「楽しかったの？」「うん、まあ…。」



このような会話に覚えはありませんか？ 以前は何でも話してくれたのに。思春期に入ると、何も話さなくなって…何を考えているのか…成長とともに、自我が芽生え、親子の距離も離れているのでは、と不安に思われる方もいらっしゃるかと思います。

そこで、高学年通信では、学習参観など学校に足を運ぶ機会がぐんと少なくなった保護者の方が、少しでも安心できるように考えています。

このような場面の特集を！ご要望があれば、どうぞ遠慮なく担任までご連絡ください。